

もみの木

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

B

多くのジャズメンにカバーされてきた クリスマス・スタンダード

CD
Track

28

「MON BEAU SAPIN」ドイツ民謡

もともと、ドイツで冬至の季節にもみの木を飾る習慣を歌った古い民謡。シンプルな曲だが、それゆえかジャズメンも多く取り上げている。イントロのフレーズはゲイリー・バートのバージョン(アルバム『GRP Christmas Collection』収録)を、そしてエンディング前はデヴィッド・ベノワのバージョン(アルバム『Christmastime』収録)を参考にアレンジしてみた。

①直前のコードを弾いたあと、×で右手の指を強めに弦に乗せて(叩いて)消音し、同時に弦が指板に当たる音も出している。右手の指は、スタンバイも兼ねて次に弾くコードで使う弦に乗せると良い(写真1)。

②直前のA^(b9)で弾いている開放弦を消音するように。1弦は押弦した左手の指の付け根か、2弦を押さえた小指で触る。5弦は右手か、左手ならば4弦を押さえた薬指で触るようにすると良い。続くG7へは、2弦を押さえた小指を軸にハイ・ポジションへ移動。

③移動により押弦が間に合わない場合は、弾く音から順番に押さえればOK。小節後半のフレーズは、2弦1fと5弦3fを押さえたまま弾く。

④1弦1fを押さえたままベースが動く。最初の6弦1fとの同時押弦はちょっとアクロバティックに見えるかもしれないが、要は慣れである。

⑤同じコード・フォーム(デミニッシュ)のまま、平行移動している(図1)。

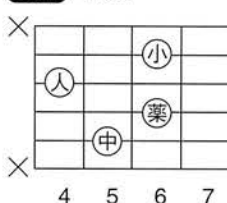
⑥このFm6のみ、人差指で2弦と3弦の1fを部分セーハ(図2)。1弦開放は使わないので、1～3弦の部分セーハか、全セーハでもかまわない。

●写真1

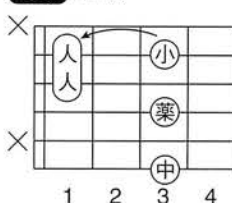


消音とリズム・アクセントを兼ねている。

●図1 Ddim



●図2 Fm6



Intro. Fm6 C Fm6 C Fm6 C Fm6 C A1 C Fm6 Em A(9)

1. C 2. C B1 Em p. A Dm

3. Fm6 C Fm6 C Fm6 C Fm6 C Inter. Fm6 C Fm6 C Fm6 C Fm6 C

A2 C Fm6 Em A(9) to Dm G7 1. Fm6 C h.p. 2. Fm6 C

B2 Em p. A Dm Fm6 3 h. Em A(9) Dm(9) G7 Coda Dm Fm6

人 中 中 藥 人 小 人 小 人

Ending Fm6 C Fm6 C Fm6 C Fm6 C

圖1 圖2